

様式第 1 号(第 6 条関係)

アイディア提案書

提案番号	No. 2 2 - 1 - 6										
提出年月日	令和 4 年 1 1 月 1 8 日	受付年月日	令和 4 年 1 1 月 1 8 日								
所 属		職名・氏名									
提案件名	郵送の宛名に郵便バーコードを入れて郵送料の削減										
提案の要件	<input type="checkbox"/> 市民サービスの向上に役立つもの <input type="checkbox"/> 事務能率が向上するもの <input checked="" type="checkbox"/> 経費の節減・収入の増加に資するもの <input type="checkbox"/> 行政事務運営の革新となるもの <input type="checkbox"/> 本市のイメージアップに係るもの <input checked="" type="checkbox"/> その他公益上有効であるもの										
関係部署	全部署										
現状及び問題点	<p>郵送の区内特別割引があるが、その詳細を知らない職員が多く受けられるはずの割引サービスを受けられていない。</p> <p>私が近年に見た業務で 25,000 件の郵送があったが割り引きされていなかった。サービスが受けられていたら 20 万円の削減につながっていた。</p>										
提案の内容	<p>今後 30 件（数量は検討により調整）を超える郵送を行う場合は、差し込み印刷でバーコードを入れる設定を行うことをルール化する。</p> <p>※差し込み印刷は慣れればすぐに設定でき、業務が効率化します。</p>										
期待される効果	<p>各課から郵送される数量が 100 件を超え、郵便バーコードがあると通常の割引からさらに 3 円の割引となる。また 1000 件を超えると 11 円の割引となる。</p> <p>年間の郵送件数 50,000 件（想定）で 55 万円が削減される</p> <p>※私が 2 年間で見ただけで 25,000 件あるので他にもある想定です</p> <p>料金（25 g 以下）</p> <table> <tr> <td>通常</td> <td>84 円</td> </tr> <tr> <td>区内特別割 100 通以上</td> <td>73 円</td> </tr> <tr> <td>区内特別割バーコード付き 100 通以上</td> <td>70 円</td> </tr> <tr> <td>区内特別割バーコード付き 1000 通以上</td> <td>60 円</td> </tr> </table>			通常	84 円	区内特別割 100 通以上	73 円	区内特別割バーコード付き 100 通以上	70 円	区内特別割バーコード付き 1000 通以上	60 円
通常	84 円										
区内特別割 100 通以上	73 円										
区内特別割バーコード付き 100 通以上	70 円										
区内特別割バーコード付き 1000 通以上	60 円										

担当課 意見	<p>【総務課】 ご提案いただきました内容については、基幹系のシステムにおいては既に導入済みの機能となります。基幹系システムから多数宛名を付した印刷物を発行する場合には、これらが印字されているものと考えています。</p> <p>ただし、それ以外の場合であって、当該機能が利用できる場合であっても、必ず当該機能が活用できているとは言えないため、これらの機能についての周知を図っていただければと思います。</p> <p>また、ご提案が各職員への配布PCでの差し込み印刷によるバーコード印刷を想定されているのであれば、事前に差し込み印刷をするためのバーコード及び住所が登録されたデータファイルの作成、郵便局によるカスタマーバーコードの品質検査を受ける必要があると考えられますので、これらに係る作業量と割引となる料金を比較しながら、個別にその導入を検討する必要があるものと考えます。</p> <p>もう少し具体的な資料等により想定する手順等を総務課へご提案いただければ、改めて実際の業務への導入に当たっての具体的な検討をさせていただきます。</p>
-----------	--

【職員提案審査委員会による審査結果】

項目	問題意識	創造性	有効性	効率性	費用対効果	具体性	実現性	合計(総合評定) (26点以上で優秀賞)
点数	3.5点	2.5点	3.3点	2.8点	3.1点	3.1点	3.2点	21.5点
意見	<p align="right">優秀賞に至らず</p> <ul style="list-style-type: none"> ●バーコード割引については少なくとも10年以上前から有ったものの、備前局が非対応との事で割引されていなかったことがあった。旧庁舎時代には郵便料金表を拡大して総務課に貼ってあったが、最近見かけなくなっているので、知らない職員がいる点は担当部署に頑張ってもらう必要があるが、印字方法など、単純に掛け算で効果が出るとは考えにくいので、もう少し検討する余地があると思われる。 ●着眼点は素晴らしいと思いますが、担当課の意見が正しいように思います。 ●基幹系システムでの宛名シール作成はバッチ処理のパラメータ入力が煩わしく、結局時間もかかります。配布端末にてバーコードが印字される『宛名印刷ツール』のようなものがあれば、解決できると思います。Word・Excelで簡単に封筒印字できるものを作りこんでいただければ、ルール化すべきだと思います。 ●まずは、バーコード付きの印刷機能が利用できる場合を明確にしてもらい、利用できる場合には必ず利用してもらおう周知するところから始めて、職員配布PCへ広げていただければいいのではないかと思います。 ●区分特別割引については、問題点に示されているとおり、あまり周知されていないように見受けられる。また、担当課意見にあるように基幹系では既に導入されているため、大量送付を伴う定例事務では一定の効果を見ているものと判断できる。費用対効果の検討も必要であるため、まずは基幹系の利用促進を進めていくことが先決だが、郵便料金等の負担感は担当によって大小あるため、本アイデアのように具体的にどれだけ節約可能性があるかを示すことは意義あることだと感じた。 ●担当課意見にもあるように、基幹系システム以外のシステムを利用している部署に業務の確認をしてもらう必要がある。区内特別で削減できる金額は大きいですが、それに係る人的労力等に見合うものであるかどうか検証が必要。郵便物の職員の家族分の抜き取り作業も同様。 ●有効であると感じるが、その分手間も増えることは危惧する。そもそも郵便物を多く発送しすぎているという気もするが・・・。 							